

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年01月24日

計画の名称	いちき串木野市における通学路の交通安全確保による安心・安全な地域づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	いちき串木野市												
計画の目標	合同点検等により抽出した通学路の危険箇所について安全対策を実施し、歩行空間の確保による安心で快適なまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	113	A	113	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	通学路交通安全プログラムに基づく合同点検において通学路の安全対策が必要な箇所に対し、整備を実施した箇所（安全が確保された箇所）の割合を向上させる。 いちき串木野市道における安全対策が必要な通学路箇所が整備された割合（％） 整備を実施した箇所 / 整備が必要な箇所 × 100	42%	71%	85%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	いちき串木野市	直接	いちき串木野市	市町村道	交安	別府島平線・照島工区	歩道整備 L=0.11km	いちき串木野市						18	-	
	A01-002	道路	一般	いちき串木野市	直接	いちき串木野市	市町村道	交安	酔之尾島平線・照島工区	現道拡幅 L=0.20km	いちき串木野市						30	-	
	A01-003	道路	一般	いちき串木野市	直接	いちき串木野市	市町村道	交安	野元平江線・平江工区	歩道整備 L=0.15km	いちき串木野市						50	-	
	A01-004	道路	一般	いちき串木野市	直接	いちき串木野市	市町村道	交安	照島保育園線・照島工区	歩道整備 L=0.11km	いちき串木野市						15	-	-
												小計						113	
												合計						113	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 いちき串木野市独自で事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和6年度
	公表の方法 いちき串木野市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・当該事業による歩道整備により車道と歩行空間の分別ができたことで、小学校周辺の児童をはじめ近隣の歩行者の安全性が各段にあがった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・区画線による視覚的対策を行うことで、走行車両のスピード抑制にもつながっている。
特記事項（今後の方針等）	
・引き続き、区画線など安全対策の整備による車両のスピード抑制効果を図る。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終 目標値	85%	他事業との併合工事により、整備率をあげることができた。
	最終 実績値	85%	